

# ひとめぼれチャレンジ 産地へのおたより

私はもうすぐ73才になるおばあさんですが、小学生に返ったわいで去年お米作りに参加しました。またその日に鳥にひろわれしまったのでもう一度チャレンジしようと、今年も参加してみたい。

- 5/25日 生協さんが届けてくれたお米の用意をする。
  - 5/27日 白い芽が出てきたので、プランターに土をまきをする。鳥にひろわれぬように、網をかぶせる。
  - 6/26日 気温25℃ 大きめのプランターを買って来て有機培養土を入れ、苗の移しかえをする。
  - 8/7日 やっと穂が本に出てきた。勢いよく、日に日に穂が出てきて、見るのが楽しみ。
  - 9/10日 待ちどほしいので刈り取りをした。(一寸早稲刈りか？) 根本をしばいて干しておいて、1日おいて、籾を中よく、バシバシと落ちてきたので、思い切って脱穀して、お米を取り出す。主人が子供の時よくやったお米と、ビンに入れて、木杵でアジから、気泡を飛ばしてくれた。市販のお米と比べると、かなり余り少ないので、お米は少し減った。(甘いかな?)
- 今年も子供や孫に分けて、お米にお供えしてから、他のお米と合わせておいしくいただきます。

- ・大きめのプランターに植えるつもりでしたが、窮乏そうなので、2箱に植える予定だと反省しました。やはりお米は広い田舎のびんびんと育てるべきだと思いました。
- ・プランターに有機培養土を入れ、途中の水は入れた他に、肥料も消毒もした方がいいけど、途中で何か追加した方がいいかな?
- ・木杵の時があったが、流水のびんびんが百想想だった。
- ・庭に植えるつもりが、植木鉢はスズメや飛んでくるのでお米は食べられなかったとほっとした。
- ・今年大変暑い夏でしたが、稲の生育と世話をするのが、楽しみが元気にくらせたことに感謝でした。又いつかおいしいお米を生産する産地のみなさんに感謝の気持ちを。

